

平成 30 年度 下越地区中学校柔道大会要項

- 1、主催 新潟県中学校体育連盟 下越中学校体育連盟
- 2、共催 阿賀野市教育委員会
- 3、主管 阿賀野市胎内市北蒲原郡中学校体育連盟
- 4、会場 阿賀野市立京ヶ瀬中学校 体育館・柔道場
- 5、期日 平成 30 年 7 月 4 日（水）、5 日（木）
- 6、日程
- | | | |
|------------|------------------|-----------------------|
| 7 月 4 日（水） | 開場 | 7 : 3 0 |
| | 計量 (団体戦登録メンバー優先) | 7 : 5 0 ~ 8 : 4 0 |
| | 審判・監督会議 | 8 : 5 0 |
| | 開会式 | 9 : 3 0 |
| | 競技開始 | 9 : 5 0 (男女団体戦、女子個人戦) |
| 7 月 5 日（木） | 開場 | 7 : 3 0 |
| | 計量 | 7 : 5 0 ~ 8 : 2 0 |
| | 審判・監督会議 | 8 : 3 0 |
| | 競技開始 | 9 : 0 0 (男子個人戦) |
| | | |

7、参加資格

- 分 (1) 団体戦、個人戦とも試合に出場する選手は、学年を問わず柔道経験が 6 ヶ月以上で、十分に試合を行える技量を有する者とする。
- (2) 団体戦は男女とも各校 1 チームとする。
- ① 男子チームの人数は、監督 1 名・コーチ 1 名・選手 7 名以内とする。
- ② 女子チームの人数は、監督 1 名・コーチ 1 名・選手 4 名以内とする。
- (3) 個人戦は男女とも各階級とも人数制限なしとする。体重区分は次の通りとする。
- | | | |
|------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ① 男子 | ・ 5 0 kg 級 = 5 0 kg 以下 | ・ 5 5 kg 級 = 5 0 kg 超 ~ 5 5 kg 以下 |
| | ・ 6 0 kg 級 = 5 5 kg 超 ~ 6 0 kg 以下 | ・ 6 6 kg 級 = 6 0 kg 超 ~ 6 6 kg 以下 |
| | ・ 7 3 kg 級 = 6 6 kg 超 ~ 7 3 kg 以下 | ・ 8 1 kg 級 = 7 3 kg 超 ~ 8 1 kg 以下 |
| | ・ 9 0 kg 級 = 8 1 kg 超 ~ 9 0 kg 以下 | ・ 9 0 kg 超級 = 9 0 kg 超 |
| ② 女子 | ・ 4 0 kg 級 = 4 0 kg 以下 | ・ 4 4 kg 級 = 4 4 kg 以下 |
| | ・ 4 8 kg 級 = 4 4 kg 超 ~ 4 8 kg 以下 | ・ 5 2 kg 級 = 4 8 kg 超 ~ 5 2 kg 以下 |
| | ・ 5 7 kg 級 = 5 2 kg 超 ~ 5 7 kg 以下 | ・ 6 3 kg 級 = 5 7 kg 超 ~ 6 3 kg 以下 |
| | ・ 7 0 kg 級 = 6 3 kg 超 ~ 7 0 kg 以下 | ・ 7 0 kg 超級 = 7 0 kg 超 |

8、申込

6 月 13 日（水）16 時必着 当該郡市中体連事務局に参加料を添えて申し込む。

※申込み後の階級の変更は認めない。

※プログラムを作成上、郡市事務局に提出する他に、必ず申込書を関川中学校清野までメールで送信してください。【清野メールアドレス sekikawachuu@jhs.sekikawa.ed.jp】

9、組み合わせ

6 月 18 日（月）13 : 00 より阿賀野市立京ヶ瀬中学校で組合せ抽選会を専門委員が行う。

10、競技規則

国際柔道連盟試合審判規定（2018 年施行の新ルール）、国内における少年大会特別規定ならびに本大会の申し合わせ事項により、本年度の全国中学校柔道大会の規定に準ずる。

11、競技方法

<団体戦>

① 男女ともトーナメント方式を行い、男子は敗者復活戦方式を取り入れて順位を決定する。女子は県大会への出場はオープンであるため、敗者復活戦方式は取り入れないが、参加校数が 7 校以下の場合は、敗者復活戦方式を取り入れて順位を決定する。

② 男子は 1 チーム 5 人制、女子は 1 チーム 3 人制により試合を行う。

③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代選手と入れ

替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた
選手 の再出場は認めない。

④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

⑤勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(指導の差2以上)」とする。

⑥優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」

⑦勝敗は、次の方法によって決定する。

ア チーム間による勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

⑧代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分の本戦で得点差がない場
合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦
と同様とする。

<個人戦>

①男女ともトーナメント方式を行い、敗者復活戦方式を取り入れて順位を決定する。【完全ダ
ブルリペチャージ】

②試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。ただし、参加人数によ
って試合時間の短縮もあり得る。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(指導の差2以上)」とする。得点差がない
場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

12、表彰

団体：男女3位まで表彰する。(個人用の賞状も授与する。)

個人：男女とも上位8人を表彰する。

13、優勝杯返還

前年度団体戦優勝校 男子：新発田市立第一中学校 女子：関川村立関川中学校

(個人戦優勝杯を保管している学校は開会式前に返還してくださ

い)

14、選手宣誓 新発田市立第一中学校 部長

15、県大会出場資格

男子団体：1位～3位までの上位4校が出場できる。

女子団体：フリー参加

男女個人：上位4名が出場できる。ただし、「男子50kg級」「男子73kg級」「女子40kg
級」「女子52kg級」「女子63kg級」「女子70kg級」は上位5名が県大会に
出場できる。(3位決定戦で敗退した選手同士による5位決定戦を行う)

16、その他

①監督は申込時、体重測定を厳正に行い、責任をもって登録用紙に記入すること。

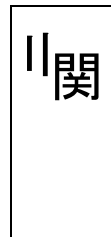
②団体登録選手の計量は、先鋒→…→大将→補員の順に行い、男子は「上半身裸で柔道ズボン
着用」、女子は「上は白のTシャツ(ワンポイント可)で柔道ズボン着用」で計量する。

③男子個人戦にのみ出場する選手の体重測定は1日目の団体戦計量後の
時間と2日目の7：50～8：20に行う。

(学校名カード) (選手名カード)

④団体戦に出場するチームは、B5版白ボールで右の様式で学校名カー
ド1枚と選手名カード(登録選手分)を作成して、当日必ず持参する
こと【選手名カードは下5cm程度を空けておく(当日の体重を記入す
る)。このカードに記載されている体重が個人戦の階級内であれば個人
戦用に再計量をする必要はなく、2日目の計量時間に計量係にカー
ドを見せればよい。】

⑤個人戦の申込書には、出場選手すべてに必ず学校名を記入する。



⑥全ての選手は、柔道着に規定の背ゼッケンをつけること。柔道着の大きさはI J F柔道衣規定に沿ったものとする。また、全柔連認定柔道着であることが望ましい。県大会は全柔連認定柔道着でなければ出場できない。

※男子は黒ペンで
女子は赤ペンで
記入する。

⑦県大会申込時の男子団体・男女個人戦の3位4位の順位決定については抽選を行う。

⑧県大会の出場種目は1競技のみのため、申込書に他競技での県大会出場の可能性の有無を記入する。他競技での県大会出場可能性がある選手が、柔道個人戦でも県大会出場となった場合、補欠選手決定戦を行う場合がある。

⑨生徒指導に関しては、下越中体連の申し合わせ事項に従うこと。